令和９年度　第２次募集　選抜・評価方法

学校番号　３０３

習志野市立習志野高等学校　全日制の課程　普通科

１　選抜資料

(1)　調査書	中学校の校長から送付された調査書
(2)　面接	評価者２名の個別面接　検査時間：１名４分程度
(3)　作文	字数：４００字以上５００字以内　検査時間：５０分

２　評価項目及び評価基準

(1)　調査書〔１３５点満点〕

評価項目	評価基準
ア　教科の学習の記録	各教科の評定の全学年の合計値で評価する。 評定１または未評価の教科がある場合は、審議の対象とする。 備考欄に検討を要する記載がある場合は、審議の対象とする。
イ　特別活動の記録 部活動等の記録 特記事項	学級活動、生徒会活動、学校行事、部活動及びその他の活動で特に優れた内容と認められる記載がある場合は、総合的に判定する際の参考とする。また、検討を要する記載がある場合は、審議の対象とする。

(2)　面接〔６０点満点〕

２名の評価者が次の３つの評価項目ごとに、各評価基準に基づき、a（優れている）・b（標準的である）・c（問題がある）の３段階で評価する。

２名の評価者による、評価項目ごとの評価の組合せ（aa～cc）で得点化する。cc 評価の組合せがある場合は、審議の対象とする。

評価項目	評価基準
ア　高校生活への意欲	高校生活に対する目標・意識が明確である。 高校生活（学習・部活動等）に意欲的に取り組もうとしている。
イ　質問に対する応答	質問内容を的確に理解し、分かりやすく適切に回答することができる。 中学校時代に努力したこと等について、明確に回答することができる。 将来の進路希望等について、具体的に回答することができる。
ウ　身だしなみ・態度	服装・頭髪等身だしなみが整えられている。 基本的な面接作法が身に付いている。 なお、制服、私服であることを問わない。

(3)　作文〔６０点満点〕

２名の評価者が次の２つの評価項目ごとに、各評価基準に基づき、a（優れている）・b（標準的である）・c（問題がある）の３段階で評価する。

２名の評価者による、評価項目ごとの評価の組合せ（aa～cc）で得点化する。cc 評価の組合せがある場合は、審議の対象とする。

評価項目	評価基準
ア　内容・全体構成	与えられたテーマに対して内容が適切である。 全体としてのまとまりがある。
イ　字数・文章表現	指定された字数に対して過不足がない。 誤字や脱字がない。文法を正しく用いている。

３　選抜方法

「調査書の得点」、「面接の得点」及び「作文の得点」を全て合計した「総得点」により順位をつけ、選抜のための資料を慎重に審議しながら、原則として、第２次募集の募集人員までを入学許可候補者とする。

＜総得点の満点の内訳＞

調査書の得点 評定	面接の得点	作文の得点	総得点
１３５点	６０点	６０点	２５５点

４　その他

過年度卒業者については、検査終了後、別途個人面談を行う。

令和９年度　第２次募集　選抜・評価方法
学校番号　３０３
習志野市立習志野高等学校　全日制の課程　商業科

１　選抜資料

(1)　調査書	中学校の校長から送付された調査書
(2)　面接	評価者２名の個別面接　検査時間：１名４分程度
(3)　作文	字数：４００字以上５００字以内　検査時間：５０分

２　評価項目及び評価基準

(1)　調査書〔１３５点満点〕

評価項目	評価基準
ア　教科の学習の記録	各教科の評定の全学年の合計値で評価する。 評定１または未評価の教科がある場合は、審議の対象とする。 備考欄に検討を要する記載がある場合は、審議の対象とする。
イ　特別活動の記録 部活動等の記録 特記事項	学級活動、生徒会活動、学校行事、部活動及びその他の活動で特に優れた内容と認められる記載がある場合は、総合的に判定する際の参考とする。また、検討を要する記載がある場合は、審議の対象とする。

(2)　面接〔６０点満点〕

２名の評価者が次の３つの評価項目ごとに、各評価基準に基づき、a（優れている）・b（標準的である）・c（問題がある）の３段階で評価する。

２名の評価者による、評価項目ごとの評価の組合せ（aa～cc）で得点化する。cc 評価の組合せがある場合は、審議の対象とする。

評価項目	評価基準
ア　高校生活への意欲	高校生活に対する目標・意識が明確である。 高校生活（学習・部活動等）に意欲的に取り組もうとしている。
イ　質問に対する応答	質問内容を的確に理解し、分かりやすく適切に回答することができる。 中学校時代に努力したこと等について、明確に回答することができる。 将来の進路希望等について、具体的に回答することができる。
ウ　身だしなみ・態度	服装・頭髪等身だしなみが整えられている。 基本的な面接作法が身に付いている。 なお、制服、私服であることを問わない。

(3)　作文〔６０点満点〕

２名の評価者が次の２つの評価項目ごとに、各評価基準に基づき、a（優れている）・b（標準的である）・c（問題がある）の３段階で評価する。

２名の評価者による、評価項目ごとの評価の組合せ（aa～cc）で得点化する。cc 評価の組合せがある場合は、審議の対象とする。

評価項目	評価基準
ア　内容・全体構成	与えられたテーマに対して内容が適切である。 全体としてのまとまりがある。
イ　字数・文章表現	指定された字数に対して過不足がない。 誤字や脱字がない。文法を正しく用いている。

３　選抜方法

「調査書の得点」、「面接の得点」及び「作文の得点」を全て合計した「総得点」により順位をつけ、選抜のための資料を慎重に審議しながら、原則として、第２次募集の募集人員までを入学許可候補者とする。

＜総得点の満点の内訳＞

調査書の得点 評定	面接の得点	作文の得点	総得点
１３５点	６０点	６０点	２５５点

４　その他

過年度卒業者については、検査終了後、別途個人面談を行う。